

評価細目の第三者評価結果(保育所版内容評価基準)

A-1 保育所保育の基本

A-1-(1) 養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果	コメント
① 保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	○ a b・c	・ 保育課程は保育理念や方針を基に編成している。また、年間指導計画、月間指導計画に記載された反省や自己評価を踏まえ、年に1回、職員会議やミーティングで全職員が関わり見直し、改善している。
② 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	○ a b・c	・ 保育室は明るく清潔に保たれている。また、スキンシップの取り方を充実させるため、ベビーマッサージセラピスト講座の受講修了者を配置している。
③ 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	○ a b・c	・ はめ込み式のパズルやブロック等、子どもの発達を促す知育玩具を多様に取り入れている。また、子どもの気持ちを受け止め、確かめるような言葉かけをするよう心掛けている。
④ 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	○ a b・c	・ 保育支援システムを利用し、継続的に成長記録を観察し、一人ひとりの能力に応じた指導計画を作成している。
⑤ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	○ a b・c	・ 小学校の運動会見学や交流会への参加をしている。幼保連携研修にも参加し、保育士が小学校の一日体験を行ったり、小学校教諭と意見交換し、得た情報は園だよりやクラスだよりで保護者に伝えている。

評価細目の第三者評価結果(保育所版内容評価基準)

A-1-(2) 環境を通して行う保育

	第三者評価結果	コメント
① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	(a) b・c	・ 衛生管理マニュアルに基づき、換気、清掃や消毒を行っている。安全点検一覧をもとに担当者が確認している。体調の優れない子どもや長時間の保育に対応するためクラス担任を持たないフリー保育士を配置している。
② 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	(a) b・c	・ 食事・排泄・睡眠・着脱等の生活習慣を身につけられるよう、個々への声の掛け方等に配慮している。4・5歳児では体操教室を通じ運動の基礎を学べるよう計画しており、体を使った遊びができるよう、大型遊具や巧技台で自由に遊べる時間を多く設けている。
③ 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	(a) b・c	・ 給食の配膳や魚のエサやり等の当番活動や鼓笛隊など、一人ひとりの力を発揮できる取り組みをしている。
④ 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	(a) b・c	・ 魚の飼育や野菜の栽培を行っている。また、21世紀美術館への見学や、ケアセンターへの訪問など、社会体験の機会を設けている。
⑤ 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	(a) b・c	・ 大学と協力し、絵本交流研究を授業の一環として行う機会を設け、絵本の読み聞かせや紙芝居を積極的に取り入れている。

A-1-(3) 職員の資質向上

	第三者評価結果	コメント
① 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	(a) b・c	・ 保育実践について、月ごとに反省、自己評価を記入している。保育支援システムを利用し情報は全職員が貸与されたタブレットから見る事ができるため、自分と他の保育士の保育実践を比べたり、振り返りながら、反省し改善に繋げている。

評価細目の第三者評価結果(保育所版内容評価基準)

A-2 子どもの生活と発達

A-2-(1) 生活と発達の連続性

	第三者評価結果	コメント
① 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	○ a b・c	・ 子ども一人ひとりの記録や、保育日誌等から家庭環境や発達などの状況を把握し、子どもの気持ちをくみ取るよう心掛けている。また、子どもを待たせたり、放っておいたりする事のないよう、クラス担任を持たないフリー保育士や主任保育士、園長が対応できるよう情報共有を図っている。
② 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	○ a b・c	・ 障害のある子や気になる子がいる場合、保育支援システムに指導内容を入力し職員間で情報共有が図れるような体制や、教育プラザ等の専門機関に繋げる体制を整備している。
③ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	○ a b・c	・ 家庭での子どもの様子など保護者から得た情報を基に、生活のリズムと連続性を考え、ゆったりと関わられるようクラス担任を持たないフリー保育士を配置する等の配慮をしている。

A-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

	第三者評価結果	コメント
① 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	○ a b・c	・ 健康管理マニュアルを整備している。子どもの健康に関する情報は、保育支援システムに入力し、全職員に周知し、情報共有を図っている。
② 食事を楽しむことができる工夫をしている。	○ a b・c	・ 食育計画の中に、食を楽しむ工夫としてバイキング給食を取り入れている。また、野菜の栽培や親子クッキング等様々な体験を通し、食に興味関心を持てるよう工夫している。
③ 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	○ a b・c	・ 給食担当者は毎日各保育室を巡回し、様子を観察したり話を聞いている。また、保育支援システムに入力された情報や残食情報を基に献立や調理に反映している。
④ 健康診断・歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	○ a b・c	・ 健康診断結果は連絡帳を通して保護者に伝えている。食後にうがいをしたり、4・5歳児には歯磨き指導を行っている。

評価細目の第三者評価結果(保育所版内容評価基準)

A-2-(3) 健康及び安全の実施体制

	第三者評価結果	コメント
① アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	○ a b・c	・ アレルギー疾患を持つ子どもには医師の診断書を提出してもらい、それに基づき除去食の提供や服薬管理を行っている。また、除去食の提供には、他の子ども達と栄養価や見た目に差がないよう工夫している。
② 調理場、水回りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	○ a b・c	・ 衛生管理マニュアルに沿って各担当者を決め、消毒や清掃を行っている。職員会議や園内研修で連絡体制の再確認を行ったり、マニュアルの見直しを行っている。

A-3 保護者に対する支援

A-3-(1) 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果	コメント
① 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	○ a b・c	・ 給食だよりで食生活や栄養、食育に関する情報等を提供している。また、レシピを配布したり、試食会や親子クッキングを行い、食生活について関心を持つ機会を設け、それに併せて相談にも乗っている。
② 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	○ a b・c	・ 保護者から聞いた情報等は保育支援システムに入力され職員間で情報共有している。また、日常的な情報交換は連絡帳で行い、3歳以上児については園の入り口に設置した大型スクリーンで活動内容を保護者に知らせている。
③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	○ a b・c	・ 11月に希望者を募り、個別懇談を行っている。また、保育参観や親子クッキング、バイキング給食など、保護者が子どもと一緒に活動し、交流を行うことで子どもの成長などを共通理解する機会を設けている。
④ 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	○ a b・c	・ 虐待対応マニュアルを整備している。虐待が疑われる子どもがいた場合の報告、連絡、相談の体制を整備している。